

## 新聞読んだ考えた

八戸学院光星高3年

ふくむら ゆい  
福村 由衣さん

2022年3月2日付16面「原発と脱炭素 根強い不信 再稼働少数」 2011年3月に東京電力福島第1原発事故を経験した日本では原発への不信が根強く、再稼働は少数にとどまるが、欧米では発電時に二酸化炭素を出さない原発の積極活用を目指す動きが出ている。エネルギー価格の高騰で安定電源としての原発が再評価されている。



私は正直、原発を再稼働させるのは良くないと思っていました。東日本大震災の影響で福島第1原発の事故が起きてから今年で11年。大量の放射性物質が放出されたことにより、広い範囲の地域が立ち入り禁止区域となり、いまだに家に帰ることができない人たちが多くいます。そのようなニュースを見ると、悲しい気持ちになり、原発の恐ろしさを感じました。

しかし、原発に利点がある

### 原発 安全性の保証を

のも事実です。世界が脱炭素社会を目指す中で、発電時に二酸化炭素を出さない原発はとても重要です。海外では原発の増設や次世代原発の開発が進んでいるそうですが、脱原発を進める国もあり、いずれにしても難しい判断なのだと実感しました。

大量の放射線を浴びると健康に影響を及ぼします。その点でも、原発に対して過剰に拒絶反応を示す人が多いのではないのでしょうか。しかし、施設の安全性が保証されれば意識が変わるかもしれません。地球環境を守ることも考えていかなければならないと思います。